

東予総合支所

〒799-1394 周布349番地1 TEL0898-64-2700 FAX0898-65-4363

新春の空に虎・鶴・亀 ～黒谷集落～

見上げると「虎、鶴、亀が…」、どこのことかわかりますか。それは、黒谷集落のことです。

「そこはイノシシ、鹿、猿がようけ出て、農産物に悪さするとこじゃろがん」と思われる方、黒谷に詳しいですね。けれど、イノシシなど有害鳥獣のことではなく、今回は家の瓦の話です。黒谷集落は20軒足らず



▲長井哲夫さん宅の虎と竹林の水板

の集落ですが、うち4軒の瓦に虎や鶴などがいるのです。

「これは水板みずいたというて、施主

の意向により、虎や亀は魔よけ、鶴や亀は縁起物、コイや波は火災よけの意味ですんじゃが、ほかと比べてそんなに多いんかいのう」と地元の大工、長井弘さんは話します。屋根の写真を撮らせてくれた長井哲夫さんは「珍しいかいのう。わしら、若いころから変わらんけん考えたこともなかったわい」と昭和27年に建てられた家の屋根にある虎と竹林の水板を見上げながら話しました。

平家の子孫が開いたともいわれる黒谷集落、一度訪ねてみると新しい発見があるかもしれません。



▲丹下保さん宅の虎と竹林の水板

丹原総合支所

〒791-0592 丹原町池田1733番地1 TEL0898-68-7300 FAX0898-68-4769

地域とともに歩む

～丹原高校の取り組み～

丹原高校では、地域と連携した特色ある取り組みが行われています。その中でも積極的な活動をしているのが「農業クラブ」と「社会研究部」です。

農業クラブは、菊作りの指導や寄せ植えの講習会を公民館などで年間20回以上実施するほか、園児や小・中学生との野菜作り、竹すだれの製作などを行っています。この農業技術を生かして、昨年のえひめ国体



▲農業クラブの活動の様子

では、来県する選手に贈る寄せ植えを全校生徒で400鉢制作し、おもてなしをしました。

社会研究部は、周桑手すき和紙を生かした地域活性化に貢献しようと、昨年の丹原七夕夏まつりに和紙を使った笹飾りを出展しました。当日は来場者に和紙の短冊へ願い事を書いてもらうなど、周桑地域の伝統産業をアピールし、イベントを一層盛り上げました。

こうした高校生の取り組みは地元住民にとっても大きな活力になります。これからも学校と地域が丸となり活気あふれる丹原を目指していきましょう。



▲社会研究部の皆さん

小松総合支所

〒799-1198 小松町新屋敷甲496番地 TEL0898-72-2111 FAX0898-72-4048

ご存じですか、小松町の上水道

小松町に上水道が創設されたのは、今から55年前の昭和38年です。そのころはまだ水源地も南川地区に1カ所しか設けられておらず、一部の地区にしか上水道は普及していませんでした。



▲昭和63年に改修の南川水源地

その後、生活水準の高度化や人口の増加、未給水地区での地下水不足などにより上水道への加入要望が強くなったことで、昭和60年から平成2年に上水道第1

次拡張事業を実施しました。明穂地区に新たな水源地を設けるほか、未給水地区への上水道の普及が行われました。平成5年から平成6年には第2次拡張事業を実施し、小松町の上水道は完備されていきました。

現在の小松町上水道は、耐震性に優れたポリエチレンパイプによる配水管の布設替え工事を実施しています。これからも、市民生活の生命線でもある水道水を安全で安心して供給できるよう、施設整備や給水確保に取り組んでいきます。



▲昭和61年に創設の明穂水源地